

現場  
代理人  
レポート

# 信濃川左岸流域農業水利事業

## 4号幹線用水路池津工区その1工事

本地区は、新潟県の長岡市及び小千谷市にまたがる4,501haの水田地帯で、魚沼産コシヒカリに代表されるブランド米の生産を中心に、酒米や水田の畑利用による地元農産物の加工品の生産、販売など多様な農業が営まれています。

本工事の4号幹線用水路は、施設の老朽化や水路浮上の発生により通水能力が低下していることから既設水路の改修工事を行うものです。工事内容は、延長440mの既設水路を撤去し、L型ブロック水路を新設します。現場周辺は、四尺玉



花火で有名な「片貝まつり」の見学スポットでもあり、花火当日は多くの観覧者で埋め尽くされます。また、当地は錦鯉の生産地でもあり、用水路沿いにも養鯉池があるため、生産者の方々のコミュニケーションを図り、細心の注意を払いながら工事を進めています。平成30年10月末時点では、既設水路の取壊しを終え、掘削、基礎コンクリートの施工へ順調に推移しています。

これからは積雪の多い時期になり工程管理や作業時間等に制約が発生する事が考えられ創意工夫を行いつつ、コンクリート二次製品の据付工事が11月末より本格化して行きますので安全管理を徹底し、無事故・無災害で工事が完成する様に職員一同努めてまいります。

### 監督職員からのエール

本事業所は、平成29年8月、全国で初の国営水利システム再編事業地区として開設し、H30年度から本格的に工事に着手致しました。本工事は、関係者が注目する記念すべき最初の工事です。そのため、今後の工事の指標とするべく、丁寧な地元対応と工事の安全管理を心がけ工事監督を行っています。

本工事は、地表から約2m以浅がN値5以下の軟弱地盤であること、多くの流入排水があることから、流用土としての扱いや排水処理が重要となってきます。また、冬期の降雪にも対応しながら工事を完成させる必要があるため、的確な工程管理が必要です。現場代理人の小峰さんは、地権者の方々とコミュニケーションを図り理解を得るとともに、工事スタッフと一致団結してきめ細かな工程管理に努めることで、現在、工程計画どおりの進捗となっています。今後、降雪等による厳しい天候が予想される中、工期内の完成に向け安全で品質の高い構造物を構築する工事を実施することを期待しています。

#### 監督職員

(写真左) 北陸農政局信濃川左岸流域農業水利事業所

工事課長 伊藤 直樹

#### 現場代理人

(写真右) 青木あすなろ建設株式会社

農政信濃川作業所 小峰 裕治

